



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日
東

上場会社名 富士ダイス株式会社 上場取引所
 コード番号 6167 URL <https://www.fujidie.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 春田 善和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 高安 真生 (TEL) 03-3759-7182
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	12,329	0.0	347	△41.2	438	△32.5	280	△41.3
2024年3月期第3四半期	12,323	△2.9	590	△34.0	649	△32.1	477	△27.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 387百万円(△44.0%) 2024年3月期第3四半期 692百万円(△21.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	14.11	—
2024年3月期第3四半期	24.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	25,260	20,423	80.9
2024年3月期	26,138	20,647	79.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 20,423百万円 2024年3月期 20,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	1.9	680	△16.0	850	△3.6	590	△16.8	29.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	20,000,000株	2024年3月期	20,000,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	106,012株	2024年3月期	133,780株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	19,881,669株	2024年3月期3Q	19,855,484株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き緩やかに回復しているものの、ウクライナ情勢に伴う資源・エネルギー価格の高騰や世界的な物価上昇、中東での紛争の発生、長引く円安や中国経済の減速、米国大統領選挙による政策転換等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況のなか、当社グループは「共生」を年度方針に掲げ、高品質・低コスト・短納期・充実したサービスの向上に努めてまいりました。

また、「変化に対応できる企業体質への転換」を目指し、2025年3月期から3ヵ年を対象期間とした中期経営計画を策定しており、1. 経営基盤の強化、2. 生産性向上・業務効率化、3. 海外事業の飛躍、4. 脱炭素・循環型社会への貢献、5. 新規事業の確立を重点施策に掲げ、諸施策への取り組みを推進しております。

経営基盤の強化については、基幹システムの刷新を実現し、稼働を開始することが出来ました。また人的資本への投資として新たな福利厚生制度の導入や、Eラーニングの拡充等も行っています。加えて、当社グループがサステナビリティ経営の実現にどのように向き合っているかを広くお知らせするため、サステナビリティレポートを初めて発行いたしました。

生産性向上・業務効率化については、熊本製造所の冶金工程にCAD・CAMを駆使したNC加工機による自動加工ラインを導入し、平面加工における手作業の約60%を自動加工に移管しました。

海外事業の飛躍については中国、北米に続き、インドでも展示会への出展に向けた活動を推進しました。

脱炭素・循環型社会への貢献については、11月に行われたJIMTOF2024（第32回日本国際工作機械見本市）において、当社のコア技術である粉末冶金技術と超高压合成技術を掛け合わせて開発した、貴金属フリーで省電力のグリーン水素発生装置向け触媒・電極（PME）や、車載用モーターコア金型向け新材種として開発した水切りワイヤー放電加工用超硬合金（フジロイVG51）を発表しました。

新規事業の確立については、新事業探索・事業化検討に関する組織を立ち上げ、リサイクル事業等の検討を開始しています。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は12,329百万円（前年同期比0.0%増）となりました。

超硬製工具類では、昨年度好調であった海外向け溝付きロールの顧客での在庫調整による大幅な売上減少により、売上高は3,048百万円（前年同期比13.1%減）となりました。

超硬製金型類では、製缶金型や車載用電池向け金型の販売が堅調に推移した結果、売上高は3,136百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

その他の超硬製品では、半導体製造装置向け及び超硬素材の販売が好調に推移した結果、売上高は3,202百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

超硬以外の製品では、引き続き混練工具の販売が低調に推移したものの、これを補う形で一部の鋼製自動車部品用工具・金型の売上が堅調に推移した結果、売上高は2,941百万円（前年同期比0.0%増）となりました。

また利益につきましては、生産性向上・業務効率化の施策等に一定の成果があったものの、原材料の高騰、IT投資や人財投資の拡充により、営業利益は347百万円（前年同期比41.2%減）、経常利益は438百万円（前年同期比32.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は280百万円（前年同期比41.3%減）となりました。

なお、当社グループは耐摩耗工具関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は14,415百万円(前連結会計年度末15,024百万円)となり、608百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が169百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が579百万円減少、電子記録債権が107百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は10,845百万円(前連結会計年度末11,114百万円)となり、269百万円減少いたしました。これは主に、建物及び構築物(純額)が204百万円減少、機械装置及び運搬具(純額)が92百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,233百万円(前連結会計年度末3,871百万円)となり、638百万円減少いたしました。これは主に、賞与引当金が207百万円増加したものの、未払費用が418百万円減少、支払手形及び買掛金が370百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は1,604百万円(前連結会計年度末1,619百万円)となり、15百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、20,423百万円(前連結会計年度末20,647百万円)となり、224百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が280百万円増加、剰余金の配当により利益剰余金が635百万円減少したこと、及び為替換算調整勘定が124百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年11月14日付の「2025年3月期第2四半期(中間期)決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,381	6,331
受取手形及び売掛金	2,799	2,219
電子記録債権	1,349	1,241
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	202	372
仕掛品	1,772	1,788
原材料及び貯蔵品	1,294	1,236
その他	226	226
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	15,024	14,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,012	4,807
機械装置及び運搬具（純額）	2,211	2,118
工具、器具及び備品（純額）	276	305
土地	2,726	2,737
その他	19	1
有形固定資産合計	10,246	9,971
無形固定資産		
その他	235	254
無形固定資産合計	235	254
投資その他の資産		
投資有価証券	217	195
長期貸付金	7	5
繰延税金資産	366	381
その他	41	36
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	632	619
固定資産合計	11,114	10,845
資産合計	26,138	25,260

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,896	1,526
短期借入金	35	27
リース債務	26	17
未払金	723	750
未払費用	662	243
未払法人税等	166	31
賞与引当金	207	415
役員賞与引当金	22	-
その他	129	220
流動負債合計	3,871	3,233
固定負債		
リース債務	38	27
繰延税金負債	16	12
役員退職慰労引当金	3	3
退職給付に係る負債	1,561	1,560
固定負債合計	1,619	1,604
負債合計	5,491	4,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	164	164
資本剰余金	1	7
利益剰余金	19,896	19,540
自己株式	△83	△65
株主資本合計	19,978	19,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105	88
為替換算調整勘定	463	588
退職給付に係る調整累計額	100	99
その他の包括利益累計額合計	669	776
純資産合計	20,647	20,423
負債純資産合計	26,138	25,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	12,323	12,329
売上原価	9,218	9,266
売上総利益	3,105	3,062
販売費及び一般管理費	2,514	2,715
営業利益	590	347
営業外収益		
受取利息	7	10
受取配当金	8	4
受取賃貸料	17	15
為替差益	16	-
補助金収入	9	66
その他	9	8
営業外収益合計	68	105
営業外費用		
支払利息	3	3
為替差損	-	7
寄付金	2	2
譲渡制限付株式関連費用	3	-
その他	0	1
営業外費用合計	9	14
経常利益	649	438
特別利益		
固定資産売却益	41	1
特別利益合計	41	1
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	3	0
減損損失	0	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	687	439
法人税等	210	117
過年度法人税等	-	41
四半期純利益	477	280
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	477	280

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	477	280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	△17
為替換算調整勘定	173	124
退職給付に係る調整額	1	△0
その他の包括利益合計	214	107
四半期包括利益	692	387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	692	387
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記)

当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業セグメントは、耐摩耗工具関連事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	718 百万円	741 百万円